

昭和59年7月16日
新潟市付近の集中豪雨に関する資料

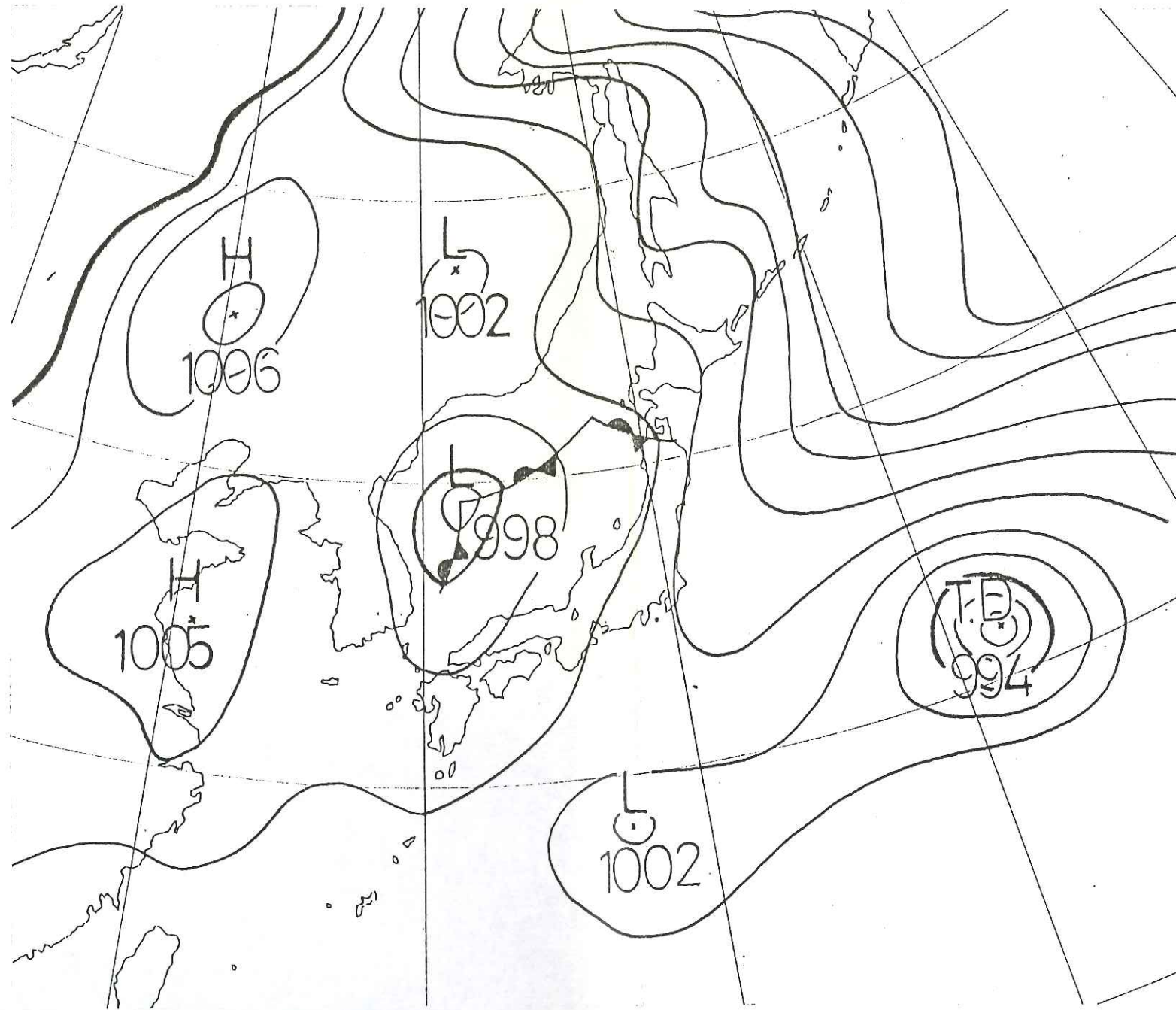
新潟地方気象台

この資料は早急にまとめたもので、後日、内容の一部を予告なく変更することがあります。

気象の概況

日本海西部に低気圧があり、一方三陸の東海上の高気圧が東日本に張り出していた。また、四国の南にも弱い低気圧があり、南から暖かい湿った空気が、新潟県付近へ流れ込み、大気の状態が非常に不安定となっていた。このため、午後から県内の所々で強い雷雲が発生し、大雨となった。特に、新潟市では17時30分から18時30分の1時間に52.0mmの雨が降り、新潟市としては、観測開始(1914年)以来、第2位の記録的な大雨となった。

昭和59年7月16日18時00分 地上天気図



(mm)

新潟市の10分間雨量と積算雨量 及び警報、情報の発表タイミング

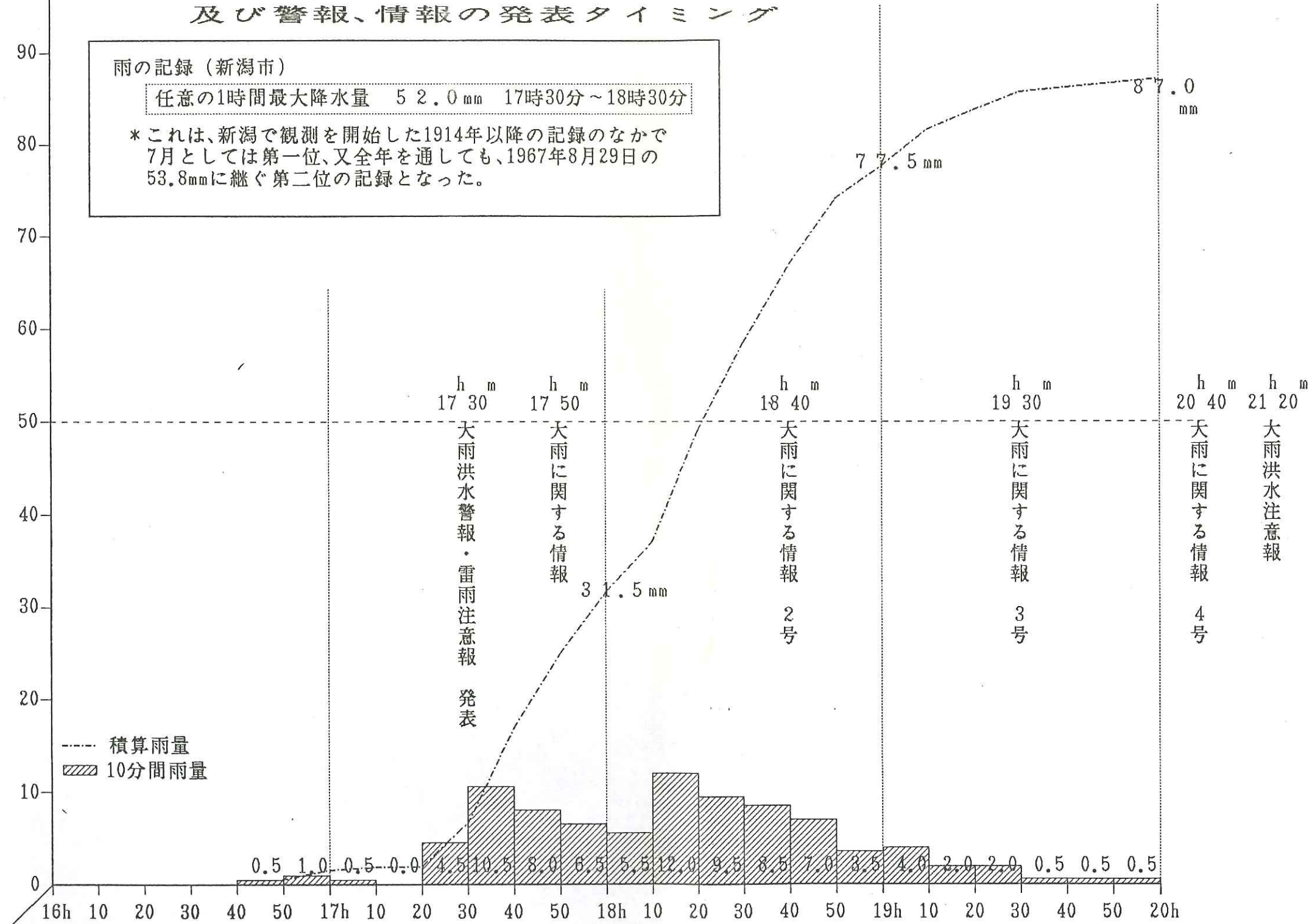
雨の記録 (新潟市)

任意の1時間最大降水量 52.0 mm 17時30分~18時30分

*これは、新潟で観測を開始した1914年以降の記録のなかで7月としては第一位、又全年を通して、1967年8月29日の53.8mmに続く第二位の記録となった。

h m

14 30
大雨洪水雷雨注意報
発表



積算雨量
10分間雨量

16h 10 20 30 40 50 17h 10 20 30 40 50 18h 10 20 30 40 50 19h 10 20 30 40 50 20h

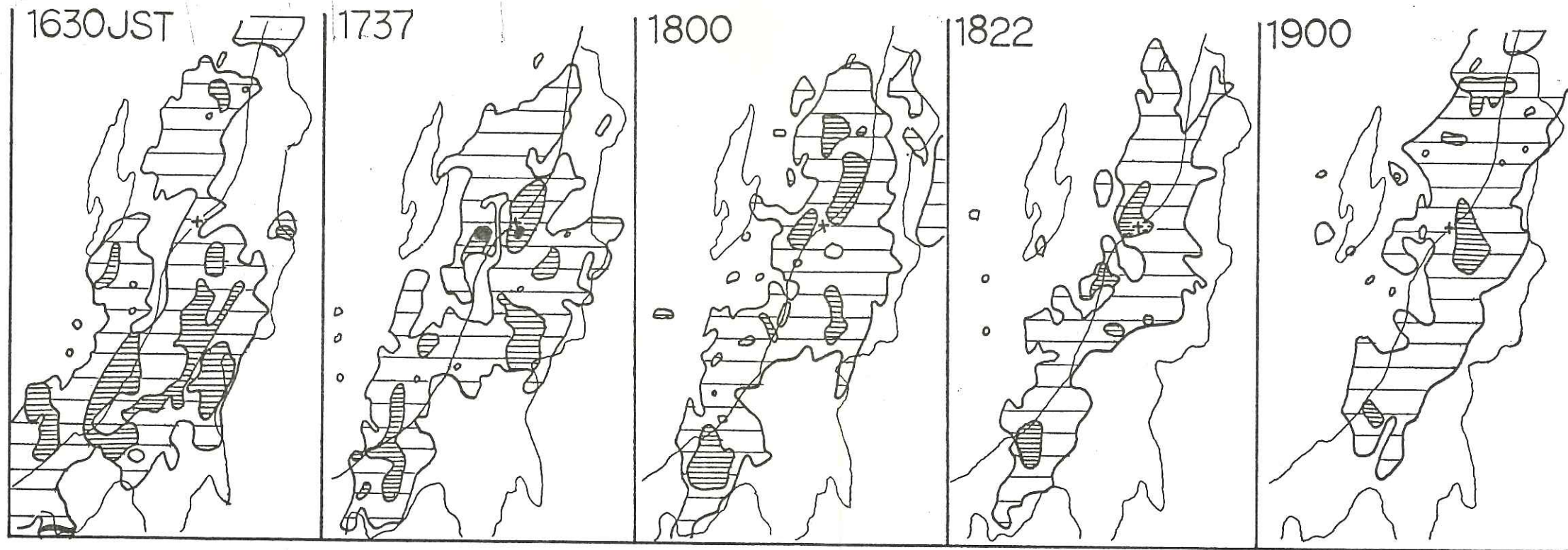
レーダー・エコー移動図

昭和59年7月16日16時30分~19時00分

エコー強度(降水強度 mm/hr)



+印:新潟市



気象台で発表した注意報、警報、情報

大雨洪水雷雨注意報 昭和59年7月16日14時30分発表

県内は大気の状態が不安定となっています。このため、県内ではこれから明日朝にかけて局地的に雷を伴った強い雨の降る恐れがあります。今後の予想雨量は、1時間に20ミリ前後、総雨量は多いところで50～70ミリ位の見込みです。小河川の増水、低地での浸水、がけ崩れ、落雷、突風にご注意ください。

大雨洪水警報、雷雨注意報 昭和59年7月16日17時30分発表

「これから明日朝にかけて県内では1時間に50ミリ前後、降り始めからの総雨量は150ミリ位の見込みです。」

大雨に関する情報 昭和59年7月16日17時50分発表

「記録的な強い雨を観測しました。現在、大雨・洪水警報を発表しています。厳重な警戒が必要です。」

17時30分現在、栃尾市守門岳で、1時間に66ミリの雨量を観測しました。

県内では大気の状態が不安定となっています。レーダーの観測によれば、県内の所々に強い雨雲が広がっています。このため、明日朝までに局地的に雷を伴って1時間に50ミリ前後の強い雨が降り、降り始めてからの総雨量は150ミリ位に達する見込みです。河川の増水、氾濫、低地の浸水、がけ崩れ及び落雷に厳重な警戒が必要です。

大雨に関する情報 第2号 昭和59年7月16日18時40分発表

新潟市に降っている強い雨は、午後5時30分から6時30分の1時間に52ミリに達しました。これは大正3年の観測開始以来 第2位の記録です。

大雨に関する情報 第3号 昭和59年7月16日19時30分発表

午後5時から7時までの2時間に、新潟市で76ミリとなっています。この強い雨は、夜半前には峠を越える見込です。しかし大気の状態は引き続き不安定で大雨の降り易い状態となっていますので、厳重な警戒が必要です。

大雨に関する情報 第3号 昭和59年7月16日20時40分発表

新潟市を中心に降った強い雨は下越北部へ移動し、20時現在、中条で1時間に9ミリ程度の雨となっています。レーダー観測によれば、雨雲は少しずつ弱まってきました。午後4時から8時までの4時間に降った雨は、新潟市で、87ミリ。栃尾市守門岳で、67ミリとなっています。

大雨洪水注意報 昭和59年7月16日21時20分発表

県内の強い雨は一旦峠を越しましたので、大雨洪水警報、雷雨注意報を大雨洪水注意報に切り換えます。しかし、大気の不安定な状態が続いており、今夜半過ぎから明朝にかけて再び1時間に20ミリを越す大雨となる恐れがあります。引き続き低地の浸水や、がけ崩れにご注意下さい。

★注 「」でくくられた部分は、見出し的警告文

BSNテレビ		警報発表と同時にスロー	ニュース1 ニュース2 ニュース3	ニュース1 ニュース2 ニュース3	・20 ⁵⁵ 小情報4号 ・22 ⁵⁵ 警報→注意報伝達 ・23 ⁰⁰ ニュース2号、まじみ
BSNラジオ		飛田出でスローに放送 ・フレ-7に放送	・15 ⁰⁰ 30 ⁰⁰ ニュース1に生放送と豪雨700に 放送 700に放送 (被害状況～雨の量はあつた)		・21 ⁵⁰ 注意報→警報放送
NHK ラジオ、テレビ		・17 ³⁵ ～40 ⁰⁰ 56 ⁰⁰ (テ-総-取-2に4回字幕スロー) (ラ-FH-ホ-2に3回字幕放送)	・30 ⁰⁰ テ-ニュース (情報雨量)	・50 ⁰⁰ ラ- (被害雨量) 分直	・ラ-20 ⁰⁶ 、14 ⁰⁰ 、42 ⁰⁰ (大雨情報) ・20 ⁵⁰ テ(雨量被害) ・21 ³⁰ テ(NC9に注意報放送) ・21 ⁵⁵ ラ(警→注意報放送)
新潟日報		被害出たは記事にありと判断 情報収集	新潟県に被害ありと取材 2、4号(情報)の記事を書く役		
市交通防災課	・45 ⁰⁰ 雨量情報収集 職員自宅待機の 決定	・55 ⁰⁰ 職員非常招集、関係部門に情報伝達	19 ⁰⁰ ～00 ⁰⁰ 避難業者の開設	・30 ⁰⁰ 緊急車両の配備 20 ⁰⁰ ～00 ⁰⁰ 被害状況出動増請	・22 ³⁰ 被害状況に出動 ・23 ⁰⁰ 避難業者の開設 ・24 ⁰⁰ 緊急体制解除
市消防局		・33 ⁰⁰ 警報周知 ・49 ⁰⁰ 情報周知	・25 ⁰⁰ 排水車の点検 指示 ・40 ⁰⁰ 状況確認 指示 ・50 ⁰⁰ 小情報2号周知	・35 ⁰⁰ 小情報3号周知	・21 ⁰⁰ 局長以下管理職出動 ・21 ²⁰ 巡回警備指示 ・3 ⁰⁰ 体制解除
県消防 防災課		・30 ⁰⁰ 一斉通報 (自動) ・50 ⁰⁰ 一斉通報 (自動)	・18 ⁰⁰ 職員登庁 ・40 ⁰⁰ 一斉通報 (自動)	・25 ⁰⁰ 、30 ⁰⁰ 、35 ⁰⁰ 新潟市対応照会 ・一斉通報 ・市消防局へ被害照会	・20 ³⁰ 市へ被害照会 ・20 ⁵⁰ 一斉通報(県) ・21 ¹⁵ バス乗車状況照会 ・21 ³⁰ 一斉通報(県) ・22 ³⁰ 市へ被害報告1号

・大雨が初期の段階で新潟市に限られた局部的であることがつかめなかった。この為他市町村等の取材に人と時間がとられた。

・予想雨量はつかめたものの市内の排水能力との関係が不鮮明でなかったか。(BSNラジオ)

・テレビはスーパーを出す関係上、地域名(県下全域、佐渡を除く県内など)をはっきりと繰り返して明確に伝えてほしい。

・一方的な伝達でなく当方からの質問、疑問に答えてもらいたい。(そういう広報的な部署を警報の発表に伴って設置して貰えたら良いと思います。)BSNテレビ

・注意報、警報の発表の際にはなるべく速く放送できるように努力はしているが、ニュースの直前に発表があった場合、放送に出すまでの作業が錯綜してかえって放送に出るまでの時間がかかることがしばしばである。なるべく事前に注意報警報(特に警報は)「〇分後に発表」という形で連絡していただきたい。7月16日の警報時には放送出来なかった「見出し的警告文」についてはその後必ず放送するようにしているが、放送画面に納まりやすい形に若干手直しし、字幕スーパーを製作しなければならないので放送までに時間がかかる。検討課題である。(NHK)

・夕方になって突然の豪雨だったため、被害の把握に時間がかかった。気象情報は的確で紙面に役立った。新聞は速報性がテレビより遅いため伝達という点で限界はある。そのため今後はどうなるかという情報(この場合17日午前中の天気)が欲しい。夕刊で豪雨の特徴や警報の対応などを記事にしたが、予報課、観測課で詳しい話がきけて大いに参考になった。情報は最大限生かせたと思う。(日報)

・気象情報の内容についてももう少し簡略化した方がよいのでは?また、気象台の方では書き込み式情報用紙を検討しているという話だが、早期に実現したほうが伝達時間の短縮につながるのでは?

・注意報警報の発表について、もう少し地域をしばって出したらよいのでは?(北陸地建)

・7月16日の集中豪雨に係る大雨洪水警報は17時30分に発表された。新潟市としては職員のほとんどが帰宅途上であったことから関係職員の招集、または情報収集伝達の対応について万全でなかった。今後の問題として退庁直後の警報の対応については、関係機関との協議をしていかななくてはならない。(市交通防災課)

・可能な限り注意報、警報の発表後でも細かく現在雨の降っている地域(できれば市単位くらいに)及び雨雲の流れる方向について教えていただければ事前の対策をたてるうえで役立ちます。(県警)

・17時30分の大雨洪水警報がもう少し早い時刻に出ていればもっと早く対応できたと思う。(県消防防災課)